

進路指導の羅針盤

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして在校生の皆さんは進級おめでとうございます。2010年に発行が始まった進路情報新聞「COMPASS」は、この4月で142号となり、14年目を迎えました。引き続きよろしくお願いいたします。

なお、本校ホームページから、PDF版が閲覧でき、保護者の皆様には安心でんしゃばとでもお知らせします。

今年度から編集スタッフの入れ替えもあり、さらに充実した進路情報を皆さんにお伝えしていきます。COMPASS編集部の新スタッフは次の通りです。

編集長:進路指導主任
編集部員:進路指導副主任(高3担任)
高3担任2名、高2担任2名、高1担任2名

以上の8名です。よろしくお願いいたします。

この進路指導新聞は、1年間でどのような進路行事が行われるか、大学入試のシステムがどのようになっているか、日大の付属推薦がどのようなスケジュールで行われるかなど、多岐にわたる情報を載せていきます。この進路新聞は、皆さんの大学進学への羅針盤となっていくでしょう。毎月皆さんが興味の内容をお送りできるように発行しますので、楽しみにしてください。



卒業生の進路状況



日本大学				他大学				
	推薦	一般		推薦	一般		推薦	一般
法学部	一部	44	1	筑波大学		2		
	二部	8		金沢大学		1		
文理学部		38		早稲田大学		1		
経済学部		49	1	慶應義塾大学		5		
商学部		27		上智大学		3		
芸術学部		8		東京理科大学		8	3	
国際関係学部		2		明治大学		2	15	
危機管理学部		8		青山学院大学		2	7	
スポーツ科学部		3		立教大学		2	1	
理工学部		102		中央大学		3	8	
生産工学部		21	2	法政大学		2	9	
工学部		2		学習院大学		1	4	
医学部		1		東洋大学			8	
歯学部				駒澤大学			2	
松戸歯学部		1		専修大学		1		
生物資源科学部		37	1	北里大学			1	
薬学部		6		工学院大学		1		
短期大学部	三島	1		芝浦工業大学		2	1	
	船橋	2		東京工科大学		2	1	
医学部付属看護専門				東京電機大学		2		
通信教育部				その他の大学		33	57	
小計		360	5	小計		64	126	
進学者数		365		合格者数		190		

※日本大学は進学者数、他大学は合格者数

令和4年度高3の進路状況が出ました。日本大学への進学状況としては例年と大きく変わりませんが、現役生の74.9%が進学していることから、依然として高い水準で進学できていることが分かります。また他大学においても、国立大学をはじめ、早慶上理とGMARCHIにおいては79名合格し、昨年度の41名からの大躍進となりました。

受験というものはそれまでの取り組みが結果として現われると言われますが、それは誰にも見えないものです。その見えない部分を先輩方は「努力」という形で地道に取り組んだことが分かります。右欄の先輩方のアドバイスを是非参考にしてください。

～合格体験記～

文系特進生徒(慶應義塾大学商学部)

俺が受験を通して一番感じたこと、伝えたいことは「実行」と「継続」だ。当たり前と思ってこれを読んでいる君。自分に聞いてみってくれ。今、自分は全力で勉強できていますか？俺の勉強時間を教えておこう。夏休みは毎日、最低14時間、週100時間行うように調整した。それを毎日毎週1日も欠かさずやった。受験直前期は1日15時間やった。俺は、凡人だ。天才でも才能がある訳でもない。だから努力した。こんな凡人でも慶應という結果が出せることを証明した。ただ、いきなり1日14時間勉強するのは難しいができるようにする方法はある。俺は高校2年生になったときに予備校に入学して本格的に受験勉強を始めたが、勉強しても2時間が限界で、すぐに勉強をやめてゲームをした。でも毎日続けた。1日も欠かさず毎日続けた。そうすると、少しずつ1日の勉強時間が増えていく。4時間、6時間、8時間と徐々に増えていき、高校3年生になる頃には1日12時間できるようになっていた。勉強をしないやつはみな口を揃えて言う。明日からやろう。量より質だ。勉強方法が分からない。悪いけど俺には勉強しない言い訳にしか聞こえない。今からやれ、質あるものを量やれ、勉強方法なんて1ヶ月3ヶ月、勉強をしないと分かるものじゃない。実行に移し、継続した先に自分の勉強方法が確立される。君たちにはまだ時間がある。今日から毎日10分でいい、勉強しなさい。そして毎日続ける。気づいたら10分が30分、1時間って増えていく。勉強方法なんてどうでもいい。とにかく続ける。毎日やれ。高校3年生は残念ながら時間が無い。最初のハードルを高くしなきゃいけない。難しいかもしれないが、できないのなら受験はやめた方がいい。きついこと言ってるかも知れないが、それだけ受験は厳しい闘いだよ。覚悟を決めて立ち向かってくれ。



理系特進生徒(青山学院大学理工学部)

皆さんはこれから勉強法や参考書についてインターネットで調べ、先輩から話を聞く機会が多くなるでしょう。ですから私は逆に、受験期での失敗談を話したいと思います。ぜひ、反面教師にしてください。

まず、参考書を買うだけでやらないこと。買っただけでは参考書の内容は身に付きません。しかし私は、ポレポレや化学の重問などは何周もしていました。山積みの参考書の中で、力の付く参考書に取り組んでいたのはラッキーでした。ちなみにポレポレは、YouTubeに著者の方が英文の講義を投稿なさっている。参考書学習が苦手な方におすすめです。

次に、睡眠をきちんととらなかったこと。日中に勉強ばかりしていた反動で夜中に遊びたくなり夜更かししてしまいました。(私だけだったら恥ずかしいです...)これが原因で学校や塾の授業で寝てしまうのはもったいなさすぎますし、勉強の効率も悪くなります。しっかり寝てください。

3つ目は、受験期にも関わらず遊んでいたことです。私は、夏休み明けに志望校を下げたことで勉強のやる気がなくなっていました。

最後くらいやってよかったことを話します。私はターゲット1900、ネクステ、フォーカスゴールドを高2のうちに終わらせていました。高3の夏休みは、1日最低でも10時間は勉強していました。あとは結局運だと思います。夏休み明けに友達と浅草寺に行ったのですが、私だけ大吉でした！もうこれのおかげかもしれないです。(この先輩が遊んでも受かったなら俺も遊んでもいいや～なんて思ったなら2,3行上の内容を読み直してください！)まともなアドバイスができた気がしないですが、きっとなんとかなるのだからなりに努力が出来た人だけなのかなって思いました。

それでは皆さんの健闘を祈っています！ファイト！！



基礎学力到達度テスト



日本大学の付属選抜である基礎学力到達度テストが高1・高2は4月19日(水)に、高3は4月20日(木)にそれぞれ実施されます。高1の皆さんにとっては入学後初めての大きなテストとなり、高2の皆さんにとっては3教科で**2割**が決まるテストとなります。高3の皆さんは3教科で**4割**(2年4月**2割**+3年4月**2割**)が決まります。しっかりと対策をして臨むようにしてください。

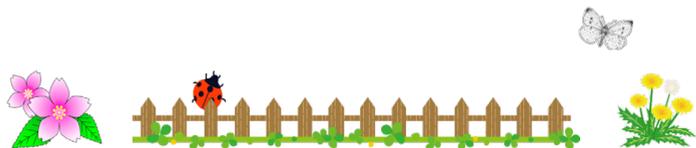
高1	国語	中学全範囲
	外国語(英語)	中学全範囲 (リスニングテストを含む)
	数学	中学全範囲
高2	国語	現代の国語, 言語文化 ※近代以降の文章(論理的な文章, 文学的な文章)及び古典(古文, 漢文)とする。
	外国語(英語)	英語コミュニケーションⅠ (リスニングテストを含む)
	数学	数学Ⅰの全範囲, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率)
高3	国語	国語総合, 現代文B, 古典B
	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ (リスニングテストを含む)
	数学	数学Ⅰ, A, 数学Ⅱの全範囲, 数学B(ベクトル, 数列) ※数学Ⅰ, Aの単独出題はしない。

高1 進路について

『進路』という言葉初めて耳にするかもしれません。大学に進学することだけが、『進路』ではありません。高校卒業後に就職することも自分の『進路』です。どんな道に進むにせよ、大切なことは、後悔のない自分にあった進路を選ぶということです。そのためのスタートがこの高1学年になります。以下の4ステップをしっかりとイメージしながら過ごしてください。

- 自分はどうな人間だろう
自分の好き嫌い・特性・得意不得意など客観的に自己分析をしてみましょう。
- 出来る限り情報収集をする
今の自分の方向性に限らず、多くの選択肢が持てるように、幅広く情報収集をしましょう。
- 分析をする
どのような学力が必要か。どのような資格が必要か。
卒業後はどのような進路があるか…など。
- それに向けて行動する

本校の進路指導部では、皆さんの進路実現に向けて多くのサポートを実施していきます。しかし、最後に行動するのは君自身です。時には受け身になることも必要ですが、主体的かつ積極的になる瞬間が必要ということも覚えておいてくださいね。



高2 キャリア&分野選択ガイダンス

4月26日(水)の4時間目に、高2対象「キャリア&分野選択ガイダンス」を行います。昨年度5月に行った高1対象「進路講演会」同様に、株式会社リクルートの方にご講演をいただきます。

講演では、具体的な失敗事例などをもとに、どのように志望する学校や学部・学科を選ぶべきかについてお話いただきます。進学後のミスマッチを避けるために、大学案内やオープンキャンパスでどの部分を読むべきか・見るべきかの助言もしていただく予定です。

当日は各教室で受講する予定ですので、自分の進路選択に役立てられるよう、必要な箇所はメモを取るなど、前向きな姿勢で聴くようにしましょう。

基礎学力到達度テストが目前に迫っている今、皆さんの中には「自分が進学できる場所」を志望しようと考えている生徒も少なくないと思います。しかし、進学先を選ぶことは、自分の将来を選ぶこと。よく理解しないままに志望先を選択してしまうと、自分の思い描いた将来設計が実現できなかつたり、そもそも大学生活が持続できなかつたりする可能性があります。なんとなくの「イメージ」で志望先を決定しないよう、どのような情報をどのように集めるべきか、この講演がそのヒントになれば幸いです。

実際に志望先を決定し、出願する時期はまだ先ではありますが、現時点で具体的な学校や学部・学科をイメージできていれば、それに向けたさまざまな準備ができます。勉強に対するモチベーションも変わってくるはず。今回のガイダンスを機に、自分がどのような将来を目指し、どのような学校や学部・学科へ進みたいのか、具体的に考えるきっかけにしてください。

← 昨年度の講演資料の1枚。進学後のミスマッチを避けるためにも、将来の進路について真剣に考えましょう。

当日配布予定の学校研究ワークブック。自分らしい未来へ「知る」ことから始めましょう! →

4月の進路行事

- 4月11日(火) 進路適性検査 (高1)
- 4月18日(火) 基礎学力到達度テスト準備 (短縮40分授業) (中高)
- 4月19日(水) 基礎学力到達度テスト (高1・2) (高3 家庭学習)
- 4月20日(木) 基礎学力到達度テスト (高3) (高1・2 家庭学習)
- 4月26日(水) キャリア&分野選択ガイダンス (高2)



次回5月号は、4月24日(月)発行予定です